



# 霞ヶ浦用水

No.64  
3/11

題字 会長 稲葉 本治

平成22年度  
農業農村工学会大会講演会

上野賞審査経過報告

霞ヶ浦用水地域における  
水資源の総合的な開発

農林水産省関東農政局整備部  
独立行政法人水資源機構  
茨城県農林水産部  
霞ヶ浦用水土地改良区



筑波嶺を越えて  
大地を潤す

霞ヶ浦と帆引き船(かすみがうら市) 【左上】平成22年度 上野賞を受賞(関連記事P3)

- 協議会長就任あいさつ ..... 2
- 霞ヶ浦用水建設推進協議会  
第48回通常総会開催 ..... 3
- 水士里連絡会における営農活動 ..... 3
- 霞ヶ浦用水土地改良区だより  
・ 上野賞受賞 ..... 3
- 平成21年度 一般会計収入支出予算  
・ 第32回通常総代会開催  
・ 霞ヶ浦用水土地改良区からのお知らせ ..... 4
- 夏の酷暑に伴う畑の水利用について ..... 5
- 利根調だより  
(関東農政局利根川水系  
土地改良調査管理事務所) ..... 5
- 企業局だより (企業局業務課) ..... 6
- 水資源機構管理所だより  
(水資源機構霞ヶ浦用水管理所) ..... 6
- 畑かん営農推進について  
・ 優良農家をたすねて  
(県西農林事務所  
結城地域農業改良普及センター)  
・ 畑総地区における  
野菜作付け状況について  
(県西農林事務所 霞ヶ浦用水推進課) ..... 7
- 緊急連絡先 ..... 8
- 心るさこ(桜川市) ..... 8

も  
く  
じ

検索サイトで「霞ヶ浦用水土地改良区」と入力して下さい。

ホームページ

霞ヶ浦用水土地改良区

検索

①↑入力

②クリック

ホームページアドレス

<http://www.kasumi-lid.or.jp>



協議会会長・改良区理事長

就任あいさつ



下妻市長  
霞ヶ浦用水建設推進協議会会長  
霞ヶ浦用水土地改良区理事長

稲葉本治

早春の候、会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。昨年8月18日の霞ヶ浦用水建設推進協議会臨時総会並びに霞ヶ浦用水土地改良区理事会において、役員の皆様の御推挙を戴き、会長並びに理事長に就任いたしました。

もとより経験も浅く微力ではありますが、精神誠意職責を全うする所存でございますので、ご指導・ご鞭撻の程、お願い申し上げます。

まず、3月11日に発生しました「東日本大震災」でございますが、国内観測史上最大のマグニチュード9.0を記録し、東北から関東地方の太平洋沿岸部を中心に津波による家屋の倒壊など未曾有の災害が生じました。被災されました方々は、心からお見舞いを申し上げます。

霞ヶ浦用水事業につきましては、(独)

水資源機構が管理しております送水管の一部が破損し、都市用水の供給ができず、関係市町の皆様には大変ご迷惑をおかけした所でございますが、3月18日から通常の供給をしております。

また、農業用水でございますが、多くの路線で漏水が発生しましたが「補助災害事業」を活用し、これら施設の復旧に向けた手続きをしております。組合員の皆様にはご迷惑をおかけすることとなりますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

霞ヶ浦用水事業は、県西南部の農業用水、水道用水及び工業用水を安定的に供給する体制を確立し、豊かな地域づくりを推進するとともに、生活及び産業基盤の充実を図ることを目的としており、この事業を推進するため昭和38年に当協議会を設立し、以来、関係者の皆様のご努

力により順調な事業の進展が図られて来たところでございます。

事業の進捗でございますが、基幹施設につきましては、平成5年度に(独)水資源機構営事業が、平成20年度には国営農業水利事業が完了し、県西広域水道用水供給事業は平成24年度、県西広域工業水道事業は平成26年度の完成を目指し推進しております。

これらの事業の進展に伴い、農業用水につきましては平成22年度時点で13市町の7,200ha余の農地に水を送っております。また、都市用水につきましては水道用水が13市町の50万人に、工業用水が13市町の関係企業に向け安定した用水供給をしております、その効果が如何なく発揮されております。

当協議会に残されました課題は、既に完成しました施設の長寿命化対策や農業用水の供給体制の確立であります。このため、当協議会の在り方につきましても今後検討が必要かと考えております。

一方、農業を巡る情勢でございますが、国におきましては民主党政権誕生後は農家へ直接支給する「戸別所得補償制度」を導入するなど、従来の農政からの転換が図られております。更に、平成23年度はTPPの参加交渉の有無が喫緊の政治課題となっておりますので、注意深く見守っていく必要があると考えており

ます。私どもに直接関係します農業農村整備事業でございますが、平成22年度には対前年比36.9%と大幅な予算カットがなされ、平成23年度におきましても対前年比100%の状況でございます。事業の着実な進捗を図るためにも、引き続き予算獲得に向けた取り組みをして参ります。県におきましては、平成23年度を初年度とする「新茨城農業改革」がスタートしますが、新たな動きを的確に捉え速やかに対応して参りたいと考えております。

土地改良区におきましては、国営事業で造成したポンプ設備の更新時期を迎えていること、用水路の漏水ヶ所の増加に対応するため、「国営施設機能保全事業」を平成23年度から導入することとしました。この事業の事業主体は国で、ソフト事業の費用負担は国100%でございますので、調査及び長寿命化に向けた事業計画を作成していただき、平成30年度以降のハード事業化に繋げて参りたいと考えております。

都市用水でございますが、快適な生活の実現や地域振興の視点より残事業の早期実現に向けて取り組んで参ります。今後とも、関係機関のご指導と、会員皆様のご更なるご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。



# 霞ヶ浦用水建設推進協議会 第48回通常総会 開催



2月9日、霞ヶ浦農業用水管理センターにおいて、茨城県をはじめ関係機関多数の来賓のご臨席のもと通常総会が開催されました。

通常総会には議案5件が上程され、平成23年度の事業計画及び一般会計予算（1440万6千円）が可決されました。また、任期満了による役員改選については、会長及び役員全員の留任が決定されました。

## 水土里連絡会における営農活動

### 利水部会「班会」の活動

当協議会の水土里連絡会の組織は、「利水部会」と「畑かん技術部会」の2部会制として活動を実施しています。

平成22年度の活動内容は、昨年引き続き茨城農業改革に関連した「いばらぎ高品質米生産運動」の一助として、水稲生育情報の提供と水稲現地講習会を開催し、関係機関の協力を得て開催しました。

水稲情報提供については、6月1日（中干し期）・7月1日（穂肥期）・7月21日（出穂期）に、今後の栽培管理方法等の情報提供を行いました。

また、水稲現地講習会については、中干し期前の6月4日（掲載写真）と7日の2班会で実施し、出穂期前の7月6日と8日の2班会で行い、それぞれ地元農家など延べ147名の参加者に生育状況や中干しの効果・今後の水管理などについて、講習会を開催しました。

### 畑かん技術部会の活動

前年度に引き続き畑かん現地研修会と畑かんだよりとして情報提供を行いました。

畑かん現地研修会については、つくば市の畑総谷田部北部地区と常総市の畑総菅生地区の実証圃において、かん水による増収効果の高い農作物のかん水区・無かん水区による生育状況・かん水状況・収穫状況を研修しました。

今夏の猛暑・干ばつに、かん水の効果が十分発揮出来て喜ばれました。

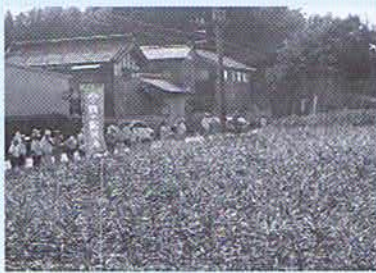


○谷田部北部地区  
(8月24日)

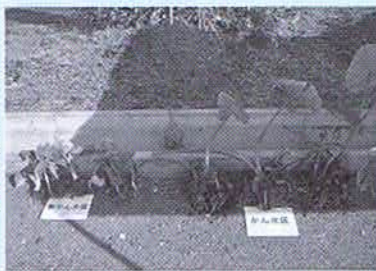
近江生菱  
里芋(土垂) 1020 a  
参加者 67名

○菅生地区  
(11月9日)

里芋(土垂) 20 a  
ブルーベリー 7 a  
ヤーコン 20 a  
参加者 83名



畑かん現地研修会



かん水効果実証

## 霞ヶ浦用水土地改良区だより

### — 上野賞受賞 —

#### 賞状

上野賞

農林水産省関東農政局整備部  
茨城県農林水産部  
霞ヶ浦用水土地改良区

業績

霞ヶ浦用水地域における水資源の総合的な開発

第58号

本学会は貴殿の業績に対して  
農業農村工学会賞授賞  
規程によりこれを賞します

平成22年8月31日

社団法人農業農村工学会  
会長 河地利彦

平成22年8月31日、農業農村工学会大会講演会にて、霞ヶ浦用水が「農業農村工学会賞【上野賞】」を受賞しました。

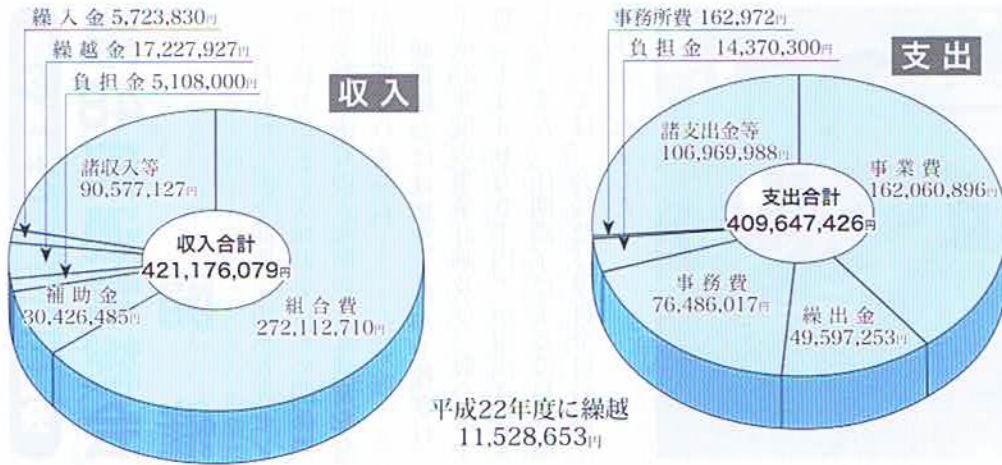
「上野賞」とは、忠犬ハチ公で有名な、農業土木学者である故上野英三郎先生の功績にちなんで設けられた賞で、農業農村に関する事業の新しい分野の発展に寄与すると認められる業績をあげた会員の属する組織・団体に授与されるものです。

受賞業績は、「霞ヶ浦用水地域における水資源の総合的な開発」で、首都圏の近郊地域での用水確保と事業を契機とした総合的な農村整備の戦略的な取り組みが評価されたものであり、農林水産省関東農政局整備部、独立行政法人水資源機構、茨城県農林水産部、霞ヶ浦用水土地改良区の4者で共同受賞しました。



## 平成21年度 一般会計収入支出決算

平成22年9月29日開催の臨時総代会にて、平成21年度土地改良区一般会計収入支出決算が承認されましたので、ご報告申し上げます。

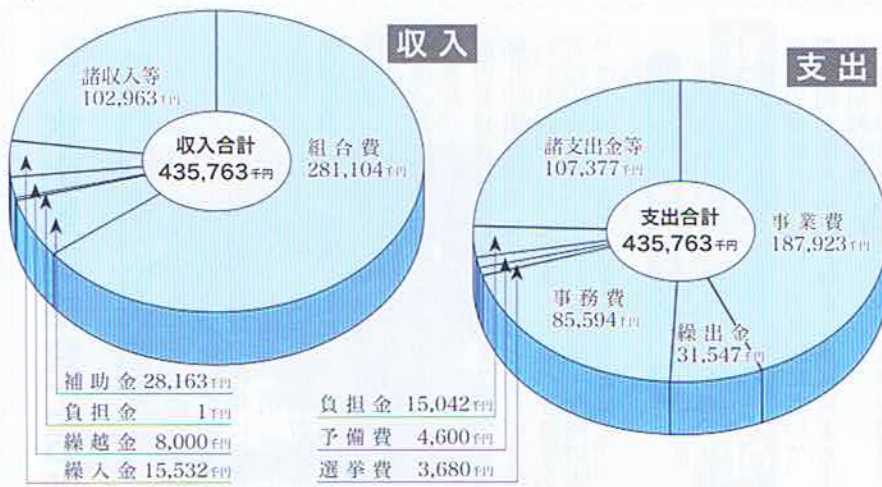


## 第32回通常総代会開催

平成23年3月2日、霞ヶ浦農業用水管理センターにおいて第32回通常総代会が開催されました。議長に常総市の濱野隆昌氏を選出し、平成23年度土地改良区一般会計収入支出予算等議案22件が可決されました。

また、霞ヶ浦用水土地改良区表彰規程により、理事の野口清様並びに清掃や除草等のボランティア活動を実施した2社の企業が表彰されました。

## 平成23年度土地改良区一般会計予算



# 霞ヶ浦用水土地改良区からのお知らせ

### 農地転用の 手続きについて

農地を農地以外のものに転用する場合には、農地法第4条・第5条により、関係市町に対し手続きが必要となります。

### 組合員資格得喪の 通知について

霞ヶ浦用水受益地内において当土地改良区の組合員が経営移譲等に伴い、土地の名義を変更する際には、組合員の資格得喪の通知を当土地改良区あてに提出していただくようになります。

### 維持管理費の期限内 納付にご協力を!

賦課金につきましては、ポンプの電気料、人件費、施設管理費等となります。霞ヶ浦用水は、受益者からの維持管理費でまかなわれておりますので、期限内に納付していただきますようご協力をお願いいたします。

### 平成23年度『決済金の額』

水田 126円/m<sup>2</sup>  
畑 100円/m<sup>2</sup>

### 『資格移動届』の提出

- ・農地の売買・贈与などした場合
- ・農業者年金受給のため経営移譲した場合
- ・組合員の名義変更及び住所変更した場合

### 平成23年度の賦課金は

10aあたり 水田 3,900円/年  
畑 3,100円/年  
賦課金の納期については、第1回 5月31日まで  
第2回 10月31日まで

※賦課領収書は確定申告する際に、納税控除証明書となりますので、大切に保管されますようお願いいたします



## 夏の酷暑に伴う畑の水利用について

この夏は、「30年に1度の異常気象」と気象庁より認定され、猛暑日（1日の最高気温が35度以上の日）が日本列島において約50日間連続で観測されるなど、異常な暑さに見舞われました。降雨量について、7月中旬に関東地方の梅雨明け発表後、7月下旬に降雨があったものの、8月上旬から9月上旬までの約1ヶ月間ほとんど雨が降らず、受益地内のすべてのアメダス観測所において、降雨日数が1桁台を記録しました。



こういった状況の中、霞ヶ浦

用水事業で設置した給水スタンドが大活躍しました。連日のように利用の申込みがあり、使用量についても著しい増加が見られました。特に8月においては、つくば市にある寺具給水スタンドの使用量が、対前年比129.6%を記録しました。給水スタンドの利用者より、「この夏、このスタンドがなかったら大変なことになっていた。」「スタンドがあつて本当に良かった。」などの声が聞かれました。農家の方に安心して水を使っていただけのような職員一同よりいっそう努力してまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。



## 利根調だより

農業水利施設を次世代に引き継ぐために  
―新設・更新から長寿命化対策への転換―

農業水利施設の相当数は戦後から高度成長期にかけて集中的に整備されていることから、老朽化が急速に進行しており、耐用年数を超過した施設は年々増加し、突発事故の件数も増加しています。

また、施設の機能保全に必要な経費は経年的に増加する一方で、国及び地方の財政状況の悪化は一層深刻となっており、今後は新設・更新等を大規模に行っていくことは困難な状況にあります。

このため、今後も農業水利施設による食料の安定供給機能や多面的機能を持続的に発揮させるため、施設に対するこまめな補修・補強を行うことで、施設の長寿命化を図る必要があります。

このような状況を踏まえ、「食料・農業・農村基本計画（平成22年3月閣議決定）」において、「リスク管理を行いつつ、施設のライフサイクルコストを低減し、施設機能の監視・診断、補修、更新等を機動的かつ確実に行う新しい戦略的な保全管理を推進する」とされており、平成23年度から機能保全のための新たな制度が導入されます。

### （一）国営施設機能保全事業

国が造成した基幹的水利施設を対象に、施設の機能を長期にわたり保全するため、国が機能診断を行い、施設の長寿命化計画を策定した上で、補修・補強等を着実に実施することにより、一層の施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を推進する仕組みを構築します。

### （二）特別監視制度

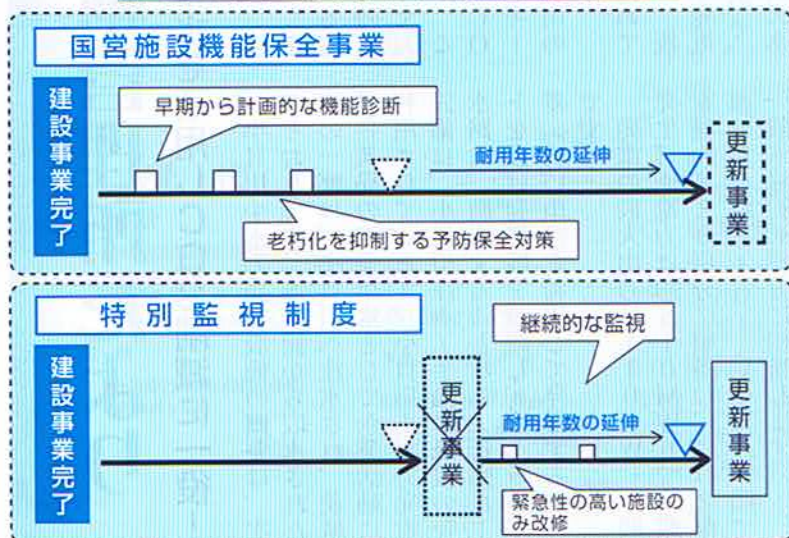
国が造成し、既に機能低下が顕著な基幹的水利施設を対象に、国が施設機能の監視を行いつ

つ、補修・補強等を災害リスクの高い箇所から適時実施し、必要最小限の範囲で施設の機能維持を図ります。

### （三）農地・水保全管理支払交付金

これまで農地・水・環境保全向上対策や中山間地域等直接支払制度の実施により地域共同で行ってきた資源の基礎的な保全管理活動に加え、老朽化が進む農業用排水路等の長寿命化のための補修・更新を行う集落（活動組織）を直接交付により支援します。

### ストックマネジメントの導入による施設の長寿命化を推進





# 企業局だより

## 都市用水の動き

茨城県企業局では、県西地域を中心とした13市町に水道用水を供給するため、新治給水系、関城給水系及び水道給水系の3つの給水系からなる県西広域水道用水供給事業を実施しています。

このうち、新治給水系と関城給水系は、霞ヶ浦用水事業により送水を受けた霞ヶ浦の水を原水として、新治浄水場と関城浄水場でそれぞれ浄水処理した水道水を両給水系内の9市町へ供給しています。

なお、県西広域水道用水供給事業の水道料金につきましては、受水市町に対して基本料金を平成22年度から引き下げました。

また、県西地域の13市町に立地する企業へ工業用水を供給するため、新治給水系、関城給水系、水海道給水系及び取手給水系の4つの給水系からなる県西広域工業用水道事業を実施しております。水源はすべて霞ヶ浦であり、霞ヶ浦用水事業により工業用水を給水しております。

工業用水道料金につきましても、立地企業の競争力強化や新たな企業誘致に資するため平成22年度から引き下げたところです。

今後も安全で安心な水の安定供給に努めてまいりますのでよろしくお願いたします。

### ○ホームページ

インターネットでホームページを開設しています。企業局の概要のほか、水道水等に関する情報を載せてありますのでご覧下さい。

<http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/kisyoun/>

茨城県企業局業務課

水戸市笠原町978の6

TEL 029 (301) 4953

## 銚田つまかっぺフェスタ'10

開催日 平成22年10月11日(月)

銚田市産業祭内「銚田つまかっぺフェスタ'10」に茨城県企業局、銚田市水道課と共に鹿行地域における水道普及促進活動を行いました。

茨城県

企業局の鹿行水道事務所の水道水と市販のミネラル水とで、飲み比べを行っているところです。



# 水資源機構管理所だより

## 霞ヶ浦の水を活用しCO2削減に一役!

独立行政法人水資源機構では、「地球環境にやさしい事業の積極推進」を掲げて、地球温暖化対策に寄与する施設の整備や新設を進めており、同時に温室効果ガスの排出削減を推進しており、当機構霞ヶ浦用水管理所では、この温暖化対策の柱の一つとして、CO2削減に貢献するクリーンエネルギーの小水力発電設備設置工事を小貝川の右岸側で進めております。

当機構としては、関東地方で初めて小水力発電設備を設置するもので、既存のパイプラインを有効活用して発電を行うのは、全国的にも珍しいもので、本事業は、経済産業省の「地域新エネルギー等促進事業」の補助を受けて実施するもので、平成23年4月の供用開始を目指して進めています。

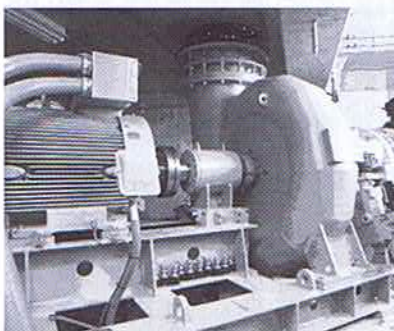
小貝川小水力発電設備の概要は、次のとおりです。霞ヶ浦から取水された水の一部は、小貝川へ注水され、茨城県企業局の工業用水として企業活動に利用されています。小貝川小水力発電設備は、小貝川注水工手前の既設の管路に、断水することなく、迂回ルートを設け発電機を設置し、注水時の落差(約17m)を利用して発電するものです。

発電の最大出力は110KW、年間発生可能電力は約810MWhで一般家庭約220戸分に相当し、CO2削減効果は約410t-CO2/年間で一般家庭約80戸分に相当します。

当管理所では、共用開始の平成23年4月より管理施設「小貝川発電所」として管理を行ってまいります。



小貝川小水力発電設備位置図



発電機室内据付状況



# 畑かん営農推進について

優良農家をたずねて

## 外国人実習生を受け入れた周年作付け体系による安定出荷

八千代町菅ヶ谷 瀬崎 光 徳さん

八千代町は、関東平野のほぼ中央に位置し、東京から60km圏内にある、緑の大地が広がる自然豊かな町です。首都圏の食糧供給基地として重要な位置を占め、町の南西部には畑地帯総合整備事業により整備された畑地が広がっています。日本一の生産量を誇るハクサイを始めとしてメロン・キャベツ・レタス等が作付けされています。

瀬崎さんの住む八千代町菅ヶ谷は霞ヶ浦用水事業の受益地であり、畑地帯総合整備事業安静地区にあたります。昨年夏の干ばつの時も、かん水が可能であったために露地野菜類の定植が順調に進み、安定的に野菜を出荷できました。

瀬崎さんは妻、両親、外国人実習生2名とともに露地野菜とパイプハウスを利用した施設栽培に取り組んでいます。外国人実習生は7年前から、規模を拡大するために受け入れています。外国人実習生を受け入れることで、出荷が周年できるように作付け体系も変化するようにになりました。

品目としては、春ハクサイ、春キャベツをそれぞれ1.4ha、秋冬ハクサイを2.5ha、秋冬キャベツを2haのほか、夏季の品目として長ナス40a、トウモロコシ等合計約9haの露地野菜を栽培するとともに、パイプハウス37aでは

出荷先は6割がJA、4割が地方市場等に出荷し、秋冬ハクサイと長ナスについては契約出荷も取り入れています。

今後は、有利な販売先の確保と契約出荷と市場出荷を組み合わせたリスク分散で、安定した収益を確保することが課題です。また、45歳の瀬崎さん自身が経営の中心であることから、さらなる規模拡大も状況に応じて検討しています。



本人（中央）、実習生（左右）

茨城県西農林事務所  
結城地域農業改良普及センター  
八城 和敏



春ハクサイのためのトンネルづくり

# 畑総地区における野菜作付状況について

茨城県西農林事務所は、畑総地区の実施の推移を把握するため、作付状況調査を行っており、今回継続的に調査している安静（あんじょう）地区、下結城地区、道六（どうろく）地区（以上八千代町）、岩井北部地区、借宿生子（かりやどおひご）地区、逆井（さかさい）地区（以上坂東市）、江川新宿地区（結城市）、谷田部北部地区（つくば市）の8地区、約600haを春作（5月）、秋作（10月）の調査結果を報告いたします。

畑総事業により区画が大きくなり、平均作付面積は、1700㎡で、最大9000㎡に単一作目を栽培している圃場もあり、大型機械による一貫体系が進んでいます。

栽培作目は、野菜が中心で、畑総地区内においても、指定野菜や銘柄産地の野菜が上位を占めていました。

主な春野菜は、レタス、ハクサイ、ネギ、キャベツ、メロン、トウモロコシ、スイカ、カボチャ、秋野菜では、レタス、ハクサイ、キ

ヤベツ、ネギ等でした。畑総地区別に見ると、図1のとおり主要野菜数は、地区により2品目から18品目に及びその作目が作付面積の60%以上を占めています。また谷田部北部地区のように、春野菜の作付割合の低い地区では、地域の特産である芝や落花生など野菜以外の作付が高い地域もありました。

また、主要野菜のレタス、ハクサイ、ネギ、キャベツの作付推移を見ますと、図2のとおり、ハクサイは春作では増加傾向にありますが、秋作ではやや減少傾向が見

（次頁続く）

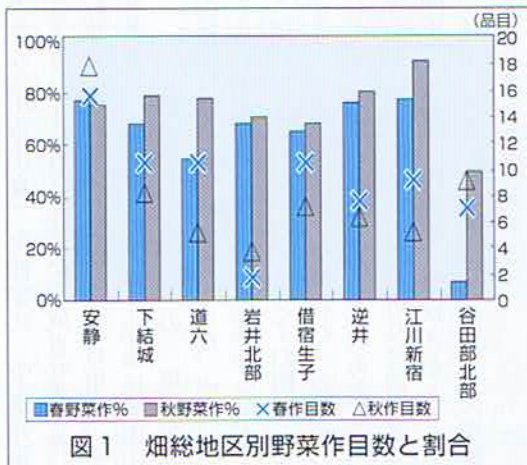


図1 畑総地区別野菜作目数と割合





畑総地区作付状況

られました。これは露地野菜から、畑かん利用により高収益性が期待されている新たな作物(ショウガ、サトイモ、アスパラガス)の導入、転換等の試みによるものと思われ

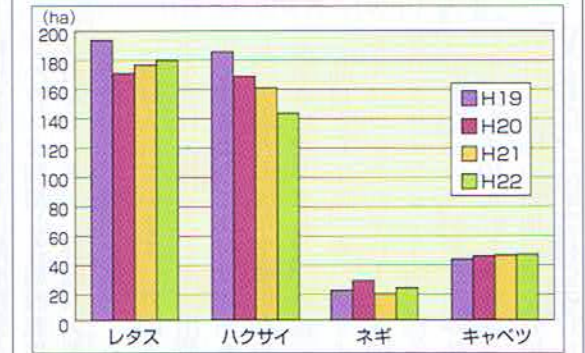
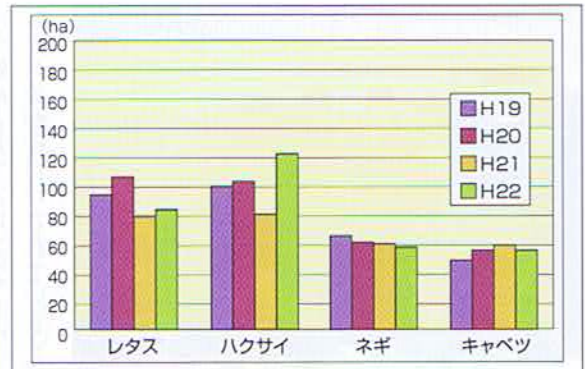


図2 主要野菜の作付推移；春作(上) 秋作(下)

また、安静地区は、パイプハウスを中心として約20haの施設化が進んでいます。露地と施設の組合せにより高品質安定生産体制が進展しています。

これら畑整備地区は、耕作放棄地の解消が図られ、機械化や計画生産により安定的な農業が営まれています。

平成22年は夏の高温乾燥、秋の長雨等の影響がありました。畑総地区は整備した基盤により、作業時間はかかったものの安定した生産となったと聞き及んでおります。

今後とも環境にやさしいエコ農業等に取り組み、消費者のベストパートナーとなる産地として発展していただきたいと存じます。



春のつくし湖



秋の葉王院 三重塔

### 第61話 桜川市 つくし湖と葉王院



桜川市真壁町椎尾地区にあるつくし湖(南椎尾調整池)は、霞ヶ浦浦水事業として、昭和45年地元説明会を経て、昭和61年10月工事着工、平成3年度に完成しました。霞ヶ浦から約35km離れた筑波山の北西麓に位置し、満水面積12ha、総貯水量56万m<sup>3</sup>の人工湖で、県西地域へ農業用水・上水道用水・工業用水を供給しています。昨年のような猛暑の折には、田畑を潤す貴重な水の源でもあります。つくし湖の周辺には、ヤマザク

の優美な三重塔があります。三十八世学頭本孝上人、三十九世尊孝上人が、周辺から浄財を集め、大工棟梁 桜井瀬左衛門(桜

ラやソメイヨシノ、ヤエザクラなどが植栽され、隣接する「ふるさと森」は、花見や新緑、紅葉など、季節の移り変わりを楽しむことができます。

また、東方には古くから山岳信仰の影響を受け、延暦元年(782年)最仙上人が開山したと伝えられる名刹 葉王院があります。筑波山の四面葉師の一つとして知られ、縁日には参詣客でにぎわいます。市指定文化財の仁王門をくぐり苔むした石段を登ると、延宝8年に完成した葉王院本堂(市指定文化財)が見えてきます。本尊は葉師如来坐像で、県内でも数少ない銅製の仏像は県指定文化財に指定されています。堂内には、雲龍の天井画や迦陵頻伽などの彩色画が描かれ、外壁は緻密な彫刻で装飾されています。

本堂の隣には、県指定文化財の優美な三重塔があります。三十八世学頭本孝上人、三十九世尊孝上人が、周辺から浄財を集め、大工棟梁 桜井瀬左衛門(桜川市出身)を棟梁に、宝永元年(1704年)に完成させました。色彩豊かな装飾建築が見事で、その桜井瀬左衛門は7年後に成田山新勝寺(千葉県)の三重塔を完成させています。また、境内は、樹齢500年と推定される巨木をはじめとするスダジイの樹叢(県天然記念物)で覆われ、みかんの北限の産地であるこのあたりは、初夏には橘の花の香りに満たされます。荘厳さ、静寂さとともに、まさしく「山色清浄身」の境地にいなわれます。

筑波山を仰ぐつくし湖の堤には植栽文字の「つくしこ」。湖面に映る筑波山の四季のうつろいは、多くのカメラマンの人気の被写体でもあります。地域の豊かな景観を映し出すつくし湖。桜川市へお越しの際には、是非つくし湖と葉王院にもお立ち寄りください。

霞ヶ浦用水は、施設保安のため、パトロールを実施しますが、漏水等による緊急事態が発生した場合は、下記まで連絡をお願いいたします。

- ◆4月21日～8月31日(かんがい期) 祝日、祭日も連絡してください。
- ◆9月1日～4月20日(非かんがい期) 夜間、土日、祝日、祭日は霞ヶ浦揚水機場にお願いします。

霞ヶ浦用水土地改良区 ☎0296-43-0885 (昼間)  
霞ヶ浦揚水機場 ☎0298-98-2212 (昼・夜間)